



2001.2.15

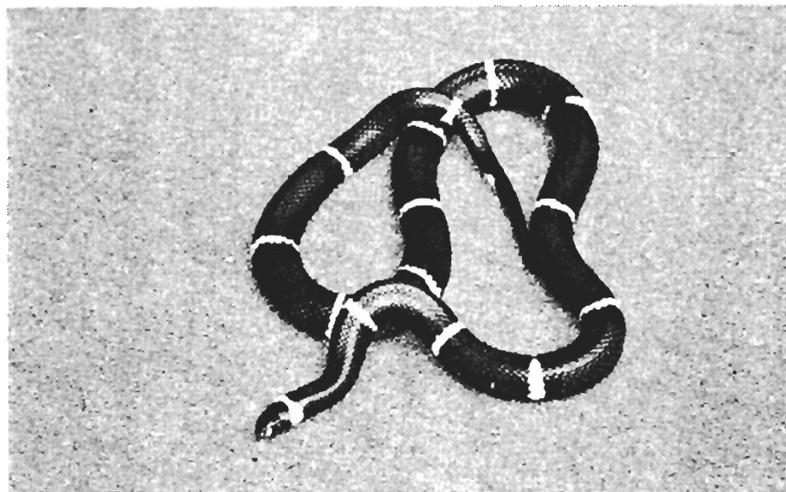
発行人 沼尻 孰 新春特集号

編集人 四方 優 **No.2**

発行 東京都建設ボランティア協会

事務局 (財) 東京都駐車場公社内

電話 03-5381-3377



ヘビの体色と模様

ヘビは手足が退化して細長い紐のような体形に進化することで、いろいろな環境に適応し、世界で約二四〇〇種以上が知られています。

その体色や模様も種類によって異なり、無地のもの、頭から尾にかけて縦縞のもの、帯状の横縞のもの、不規則な斑紋や網目模様ものなどさまざまです。これらの模様は、外敵から身を守ったり、獲物に気付かれないようにカムフラージュするの

に役立っています。また、

上野動物園
飼育課・は虫類飼育係
山本 洋 輔



二十世紀の平成十二年が終り、明けた元旦は二十一世紀という、何やら百年を一気に過

ごしたような正月を味わいました。会員の皆様には、新年早々から初動訓練に参加頂きご苦労様でした。年明けから北陸、日本海沿岸の豪雪、中南米地震、インド西部の死者

二十一世紀の新年を迎えて

会長 沼尻 孰

二十万人ともいわれる大地震など、あちらこちらで大きな災害が発生しております。

そんななか、先日アメリカではようやくやくしまった第四十三代大統領の就任式がありました。新大統領は国民に向けて「まず隣人に手を差し伸べることから始めてほしい。傍観者ではなく責任ある市民となってほしい」と語っております。

二十世紀の最後になって芽吹き始めたボランティア活動においても、相通じる言葉と感じました。本年も会員の皆様方の健康と活躍を願う次第です。

体色も目立たない保護色のものがほとんどです。

一方、なかには非常に目立つ体色や模様ものもいます。サンゴヘビの仲間は赤、黒、黄色などの横縞が交互に並んだ非常に鮮やかな体色をしています。この仲間は毒をもって、逆に目立たせることで身を守っています。写真はミルクヘビという無毒の種類です。多少パターンは違いますがサンゴヘビと似たような模様をしています。毒蛇に似せることで自分の身を守っているちやっか

災害時 建設局初動対応訓練に参加

★1月17日 各事務所にボランティア会員が参集、職員と協働訓練

阪神、淡路大震災から丸6年、歳月の経過とともに大災害の記憶も薄れていく。いつ起こるか予測しきれない大規模地震災害に即応できる態勢は、普段の心構えと日頃からの準備が何より重要であり、そのための訓練もまた必要となる。

建設局震災対策会議では、ビッグレスキュー東京2000及び、これまで建設局で行ってきた訓練をふまえ、初期における態勢の充実を図ることを目的とした初動対応訓練を1月17日に行うことを決定した。

本協会として活動の本旨からも全面参加することとして職員、協定業者との協働訓練を全会員に周知した。訓練当日の1月17日、午前7時30分に東京都港区直下を震源とする大規模地震(震度6.5強)が発生したと想定して、職員

の参集訓練、情報連絡訓練、施設点検訓練等が実施された。
厳しい寒さのなか早朝よりボランティア会員は各事務所に参集して所定の訓練業務に従事した。
各参集事務所の訓練実施の様様を参加員から寄せてもらった。

西多摩建設事務所

訓練行動を体験して

大村重雄

今回の訓練は、従来の参集訓練に止どまらず一歩踏み込んだ、初動対応訓練を実施した。西多摩建設事務所を所管する近隣在住者で組織する建設局職員並びに、建設防災ボランティア会員が行動に参加した。

参集訓練開始(7:30)と共に、各員自転車、公共交通機関を利用し、西建出張所(8:40)に全員72名、うちボランティア会員9名が参集する。同時に協力業者72社も行動を起す。

参集後直ちに庁舎点検を実施し、安全の確認を行なった。西建災害対策本部は、作戦班、情報班、通信班、応急対策班、幹部班の5班。出張所

は3班で組織され配置について。応急対策の実施については、別表のとおり速報板を使用して、状況を把握し、経過の適時報告を行なった。

講師は、参加者が一同に会し林所長から、既存の組織を利用した訓練であったが、速報板を駆使した衆知の方法、本部との連携にも配慮し更に最新の情報に重点を置き、未処理のないことが望ましい等訓話があった。終了した。

今回、訓練を体験して防災意識を深め、一層の成果があったが、更に実効性の高い態勢によって災害の対応に応えたいと念ずる。

協会の動き

●11月10日 第三回理事会
議題…

①三宅島噴火等に関する基金の報告
②現場調査会の開催
③講習会の開催

④建設局初動対応訓練について
●11月22日 現場調査会の実施

霞川調節池・秋川南岸道路・八王子中央有料道路 参加者 32名

●11月30日 講習会の実施

①立川断層について
講師…土木技術研究所 中山俊雄氏

②三宅島及び新島、神津島近海地震について
講師…都防災専門員 宮崎 努氏 参加者 72名

●12月4日 砂防ボランティア全国連絡協議会に出席 吉田正一理事

●1月12日 第四回理事会 (リーダー合同会議)

議題…
1/17建設局初動対応訓練について

原稿募集

会員の皆様からの原稿を歓迎します
紀行文/エッセイ/写真/スケッチ
グルメ/味の店紹介/スポーツ活動
サークル/俳句/短歌/趣味の活動など
何でも結構です！お寄せ下さい。
連絡郵送先 ☎163-0935
東京都新宿区西新宿2-3-1
新宿モノリス8階
東京都駐車場公社内
東京都建設ボランティア協会 事務局
(佐藤・楠根あて)
TEL 03-5381-3370
FAX 03-5381-3355



別表 (速報板情報)

班	路線名 (区間)	出発	現着	終了	処置状況
①	主5 (立体要橋~市民会館南)	8:00	8:09	8:50	異状あり (地割れ、多摩工業要請 8:55 本日中復旧)
②	主29 (河辺交差点~勝沼)	8:03	8:10	8:40	異状なし
③	主63 (成木街道入口~大門)	8:05	8:19	9:12	異状なし
④	主28 (西分2丁目)	8:16	8:40	8:45	異状あり (路面隆起、宮園建設要請 8:50 通行不可)
⑤	国411 (沢井1丁目)	8:45	9:15	9:40	異状あり (山側崩落、清水技建要請 9:40 通行止)
A	河川 霞川 (山城橋~霞橋)	8:10	8:25	8:55	異状あり (応急対応必要なし)
B	河川 多摩川 (下奥多摩橋~万年橋)	8:00	8:20	8:35	異状なし



日吉所長・水川副所長と建設防災ボランティア会員

第一建設事務所
職員・ボランティアが一体
現実に近い訓練

訓練に参加して 田中 稔

8時15分に第一建設事務所の三階会議室に到着、受付をする。私は情報部だ。すでに「永代通り新川一丁目ビル倒壊があり交通不能」との通報が入っている。まだ、応急対策部の参加者が少なく点検に出られない。

「晴海通りの勝鬨橋の付近で30センチの段差がある」と通報も入る。応急対策部の参加者も続々集まってきた。点検班がよどみなく組織される。第一班が永代通りの新川一丁目、第二班は晴海通りの勝鬨橋に出動した。協定業者から「隅田川新川係留所付近の堤防の盛土部が深さ30センチ、長さ10メートルの陥没がある」と報告。職員の応援を求めてきた。すぐに点検班を組織して応援に出す。

緊急道路障害物除去区間は協定業者からの報告を管内図に記入する。この間、参集状況はフアクシミリで被害状況はフアクシミリと防炎情報ネットワークで本部に報告する。9時過ぎからフアクシミリはパンク状態になり送信できない。対策本部から電話での報告を求められる一幕があった。

第一建設事務所では、応援出動を

含めて点検班が七班出動した。被害のあった3カ所については、それぞれの現場において点検班が応急対策を指示し10時20分ごろ次々に事務所に戻ってきた。

被害状況を「道路・橋梁施設被害状況集計表」「河川施設被害状況集計表」にまとめフアクシミリして訓練を無事終了し、最後に所長から講評を受けた。

参集状況は35名中34名参加。このうち建設防災ボランティアは参加予定者10名のうち、9名が参加した。

訓練は建設局職員、建設防災ボランティアが一体になって行われ、従来にはない訓練で一步現実に近づいたのではないかと感じられた。

ボランティア9名は所長、副所長と記念写真を写して解散した。



第六建設事務所

初動対応訓練奮闘記

栗田 則男



参加ボランティア会員が事務所庁舎前に勢揃い

住民からの通報、暴提通り（足立区千住桜木一丁目）ビル倒壊のため歩車道通行不可能との想定に始まりボランティア協会員は、職員と共に行動をした。総数13名のうち、7時30分寒空のなか、地震発生8時には既に5名が参集した。先づ現役3名OB1名の班編成後、施設の点検に出発した。なかには自転車まで西新井まで点検に行き息を切らして帰って来た会員もいた。また情報整理に活躍した会員も印象的であった。

久し振りに職員と一緒に現場状況を調査し、現役当時を回想してか自己満足の表情が漲っていた。9時30

分過ぎには、参加予定12名が合流し、女性より美味しい緑茶等の接待、11時所長の講評「ねぎらい」を受け、庁舎前で記念撮影をし散会した。

会員は、更なる親睦を深めながら一致団結して、都職員を補助する意気込みを痛感した一日でした。

多摩動物公園

ボランティア 一層の協力要請

鶴野 哲夫

1月17日、早朝6時前には目を覚ます。参集場所の多摩動物公園までの道順を描いてみる。年に一回しか通らない近道を思い浮かべ6時に起床、7時30分に玄関を出る。途中道を間違えたり、通り抜けの明星大学構内では、大校舎を左に曲がったため遠回りとなり、約5分の損失。初めてではない道を間違えるとは、いざ鎌倉の本番の日が心配になる。

多摩動物参集場所には8時着、名簿記載順位は2番。多摩動物参集ボランティア7名中、事前登録参加者は3名で全員8時30分までには到着する。役割は情報連絡班1名、点検班2名。8時45分、丹野総指揮班長の指示を受け訓練開始。約1時間後には点検各班戻る。動物舎を主とする所定の箇所を1時間で点検するのはかなり大変な様子。情報連絡班は内部、機器等に精通の職員でなければ、活動

施設見学会を終えて

次回は、より充実した良い企画を



中央有料道路（ひよどり山有料道路）の工事現場となりました。

当日は冷たい風が吹いていましたが晴天に恵まれ絶好の見学日和となりJR青梅線河辺駅に36名の会員が集合しました。

各現場にはバスで移動し各現場とも担当の課長さん、係長さんに詳細なご説明を頂き、また会員からは熱心な質問がだされ、充実した見学会となりました。

午後からの半日という限られた時間でしたが概ね予定の時刻にJR線八王子駅で解散しました。

今回は第1回ということの不慣れな点もありましたが、参加者からはぜひ来年もという声も聞かれました。次回は「より充実した良い企画を」と考えております。ご期待下さい。

(雑賀 徹)

平成12年11月22日、協会はじめての行事である「施設見学会」が行われました。

見学先は、西多摩建設事務所、東京都道路公社にご協力いただき霞川調節池、秋川南岸道路、及び八王子での貢献度は少ないように感ずる。

訓練終了後の講評では、湯本園長よりボランティア参加に対する謝辞と共に、繰り返し訓練を行うことの必要性を述べられ、ボランティアに対しては、今後の活動についてなお一層の協力要請があった。

編集責任者の四方さんが今号校正中に入院されてしまいました。発行が遅れたことをお詫びいたします。早くお元気になりますようお願い申し上げます。